

マンガで
わかる！
COPD治療

スピオルト® レスピマット®の 正しい吸入方法

監修 近藤りえ子 先生

近藤内科医院 院長 藤田医科大学医学部 客員教授



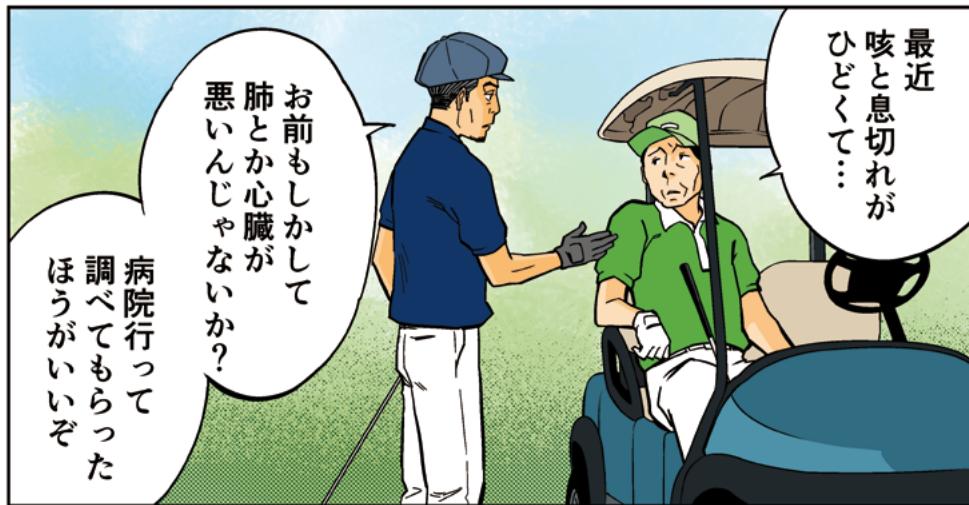
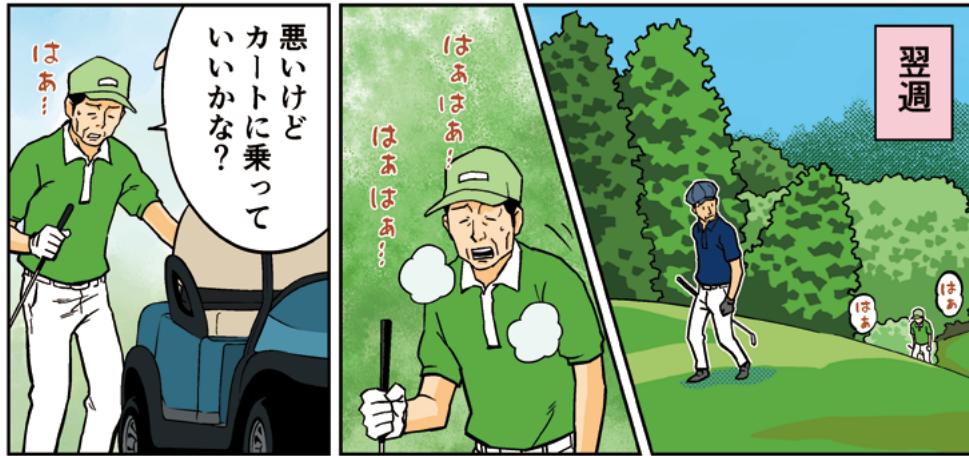
はじめに

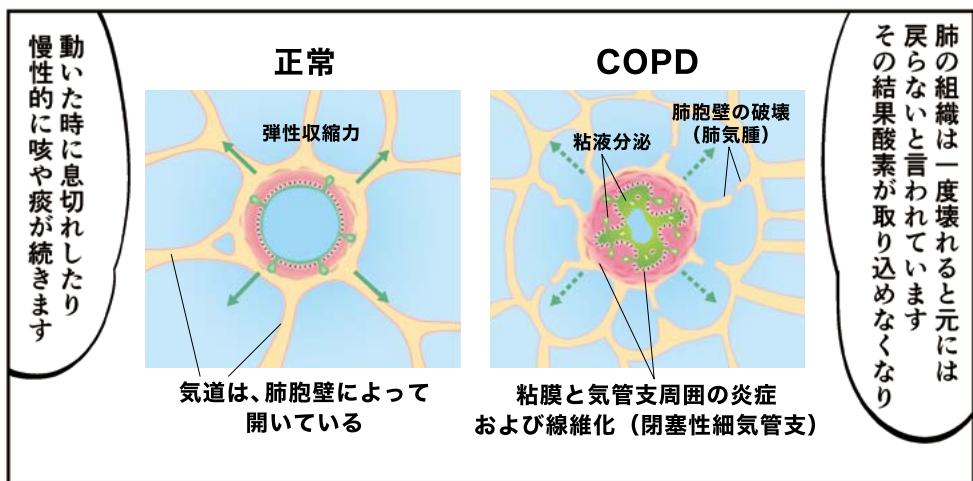
慢性閉塞性肺疾患(COPD)は別名「たばこ病」と呼ばれており、原因の90%以上が喫煙です。日本では昭和初期(1930年代)～1970年代にたばこの消費量の増加が続き、ピーク時の1966年の男性の喫煙率は83.7%に達しました。近年、喫煙が健康へ及ぼす影響が明らかになり喫煙率は低下していますが、COPDによる死者数は、たばこの消費量の増加から約30年遅れて増加する傾向にあります。厚生労働省の統計によると、2019年のCOPDによる死者数は17,836人でした。今後も死者数は増加することが予想されますので、注意が必要です。

COPDの治療は吸入療法が中心ですが、吸入薬は内服薬と異なり、吸入が正しく行われないと期待される効果が得られません。吸入器に初めて触れる患者さんも多く、初回処方時に吸入指導を受けても、再診時には正しく吸入できていない患者さんが目立ちます。患者さんに正しい吸入方法を身につけてもらうことがCOPD治療の大切な要素の1つといえます。

本冊子では、スピオルト[®]レスピマット[®]を服薬されている患者さんのために、吸入方法のポイントや注意点を漫画で分かりやすく解説しています。吸入方法の説明を受けるのが面倒、医師や薬剤師に質問できない、緊張してしまう、時間をかけることに抵抗を感じる、という患者さんが少なくありません。吸入療法を始めたばかりの患者さんはもちろん、すでに慣れている患者さんも、この冊子を通じて吸入方法についてご理解を深めていただければ幸いです。

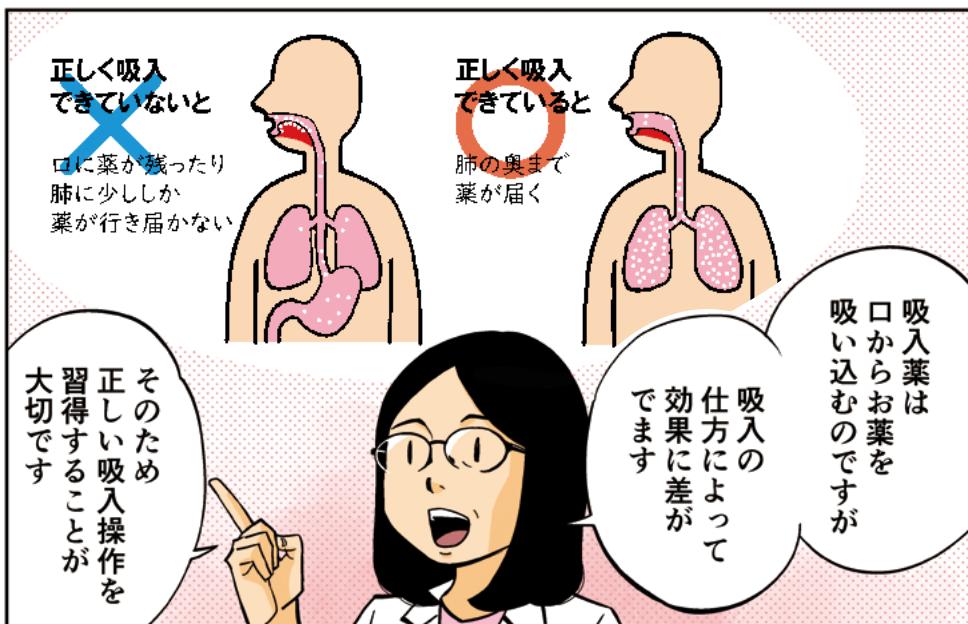






Barnes PJ: New Engl J Med 2000; 343, 269-280.より改変





正しい吸入器の操作はもちろん大事ですがもう一つ大切なポイントは

舌を下げて口の中に“お薬の通り道”を作ることです

これは外から見えないので盲点ですがとても重要なことです

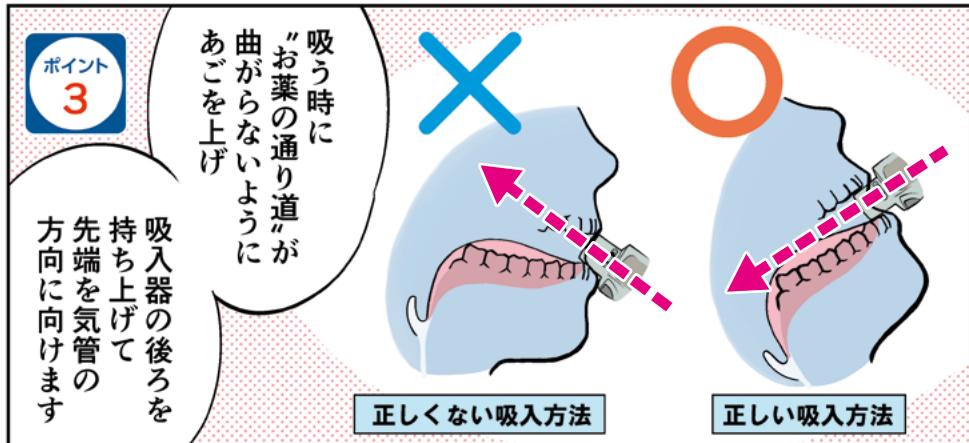
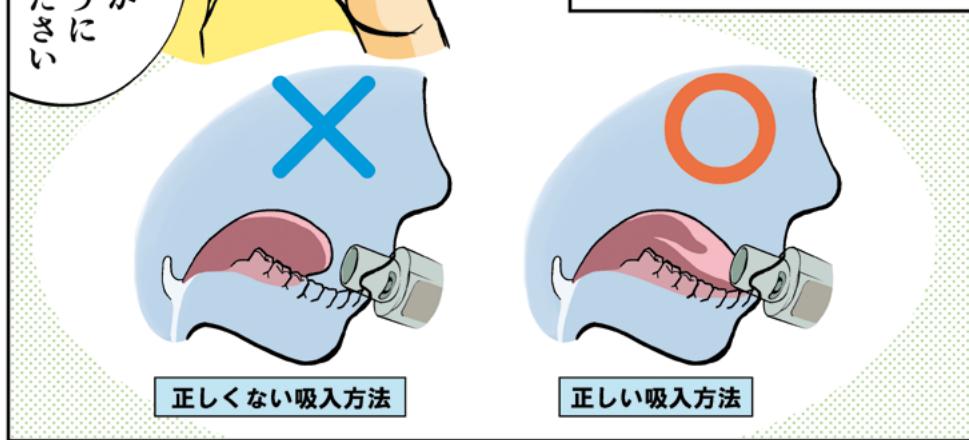
舌を下げる場合

舌を下した場合

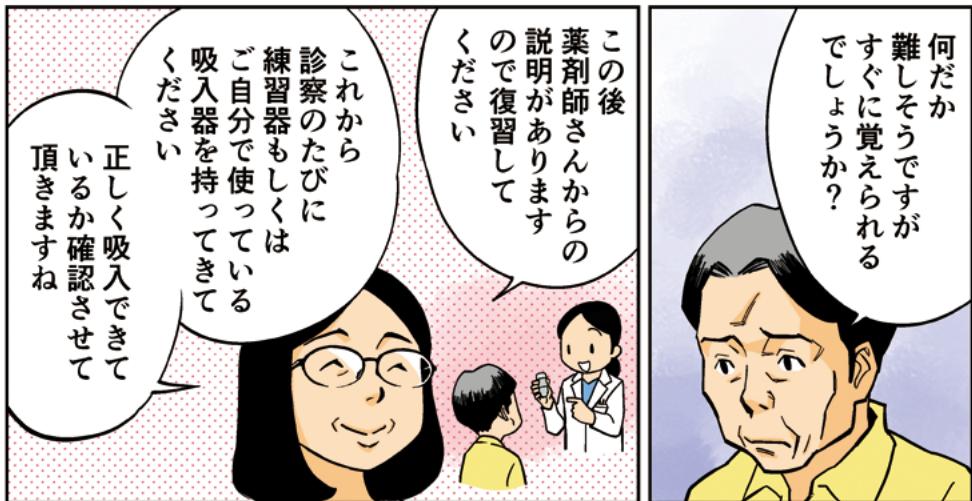
気管に十分なお薬が届かないことがあります

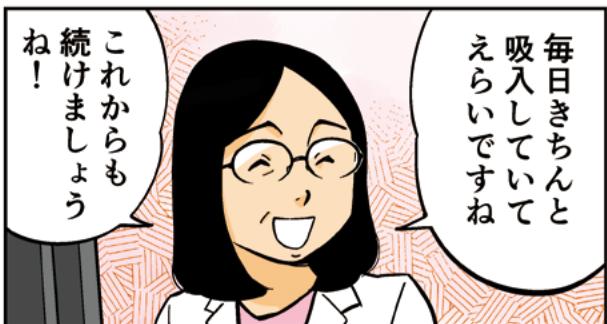
舌を意識して下げるないと吸入したときにお薬が舌に付着して











「知りたい」
「ためになる」情報を、
ウェブサイトでお届けします。

- ・COPDの疾患や治療の解説
- ・ウォーキングマップ
- ・呼吸リハビリテーション

COPD-jp.com

検索

